

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報


製品名 : **水溶性防錆剤 WP-1**  
 会社名 : 電子磁気工業株式会社  
 住所 : 東京都北区浮間5丁目6番20号  
 担当部門 : 開発部  
 電話番号 : 03-5970-8681 FAX : 03-5970-8680  
 緊急連絡先 : 担当部門に同じ  
 作成日 : 2011年6月15日 改訂日 : 2021年1月21日  
 整理番号 : SDS15130-07  
 製品コード : 15130, 15131  
 推奨用途及び使用上の制限 : 磁粉探傷試験(水仕様)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	分類できない
	金属製腐食物質	分類できない
健康に関する有害性	急性毒性(経口)	区分5
	急性毒性(吸入)	分類できない
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	分類できない
	発がん性	区分2
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(肝臓)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(肝臓、腎臓、血液、 中枢神経系)
環境有害性	誤えん有害性	分類できない
	水生環境有害性 短期(急性)	区分3
	オゾン層への有害性	分類できない

#### GHSラベル要素

絵表示	:	
注意喚起語	:	危険
危険有害性情報	:	飲み込むと有害のおそれ 皮膚刺激 重篤な眼の損傷 発がんのおそれの疑い 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い 臓器の障害(肝臓)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(肝臓、腎臓、血液、中枢神経系)  
水生生物に有害

- 注意書き :  
 安全対策 … すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 ミスト、蒸気を吸入しないこと。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。  
 この製品を使用する時に飲食しないこと。  
 環境への放出を避けること。  
 保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。  
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用し、ミスト、蒸気の吸入を避けること。  
 また、飲み込まないこと。
- 応急措置 … 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 皮膚(又は髪)に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。  
 皮膚を流水で洗うこと。  
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断・手当を受けること。  
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
 吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診断・手当を受けること。  
 火災の場合、消火には粉末、泡または炭酸ガス消火器を使用すること。  
 気分が悪いときは、直ちに医師の診断・手当を受けること。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診断・手当を受けること。
- 保管 … 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。  
 容器を密閉し、保管場所に施錠すること。
- 廃棄 … 内容物、容器を国、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学品名又は一般名	含有量(%)	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
水	68~78	-	-
添加剤	22~32	企業秘密	企業秘密

危険有害成分

労働安全衛生法(表示又は通知対象物質) : ジェタノールアミン 11~16%

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 身体を毛布等で覆い、保温して安静に保ち、必要なら医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。

- 眼に入った場合 : 清浄な水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続け、最低 15 分間洗浄した後、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、医師の手当てを受ける。口の中が汚染されている場合は、水で十分に洗うこと。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 飲むと下痢、嘔吐する可能性がある。  
目に入ると炎症を起こす可能性がある。皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。  
ミストを吸入すると気分が悪くなる事がある。

---

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 霧状の強化液、粉末、炭酸ガス、泡。  
初期の火災には、粉末、炭酸ガスを用いる。  
大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。
- 使ってはならない消火剤 : 注水は、火災を拡大し危険な場合がある。  
消火には棒状の水を用いてはならない。
- 特有の危険有害性 : 燃焼の際は、有毒なガス（一酸化炭素等）が発生する可能性がある。  
特有の消火方法 : 火元への燃焼源を絶つ。周囲の設備等に散水して冷却する。  
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際には、風上から行い必ず保護具を着用する。  
燃焼又は高温により有毒なガス（一酸化炭素等）が発生する可能性があるため、呼吸用保護具を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際には保護具を着用する。  
環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響をおこさないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 周囲の着火源を速やかに取り除く。  
少量の場合は、土、砂、おがくず、ウエス等に吸収させ回収する。  
大量の場合は、漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。漏洩した液は土砂などでその流れを止め、出来るだけから容器に回収する。  
海上の場合は、オイルフェンスを展開して拡散を防止し、吸着マット等で吸い取る。
- 二次災害の防止策 : 漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。  
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。  
こぼれた場所は滑りやすいため注意する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策	: 皮膚に触れたり目に入ったりする可能性のある場合は、保護具を着用する。 容器から取り出す時は、ポンプ等を使用する。細管を用いて口で吸い上げてはならない。 ミストが発生する場合、呼吸器具等を使用してミストを吸入しない。容器は、必ず密閉すること。
安全取扱注意事項	: 接触、吸入または飲み込まないこと。眼に入れないこと。取り扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
保管条件	: 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に密閉して保管すること。 ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避けること。必要に応じて施錠すること。
容器包装材料	: 製品仕様容器に準ずる。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 規定なし。(作業環境評価基準：平成 21 年厚生労働省告示第 194/195 号)
許容濃度	: データなし
設備対策	: ミストが発生する場合は発生源の密閉化、又は排気装置を設ける。 取扱場所の近くに、シャワー、洗眼器を設置する。
保護具	
呼吸器用保護具	: 必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）を着用する。
手の保護具	: 長期又は繰り返し接触する場合は耐油性のものを着用する。
眼の保護具	: 飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 長期間にわたり取り扱う場合または濡れる場合には耐油性の長袖作業着等を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 微黄色半透明
臭い	: わずかに臭いあり
融点／凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び 沸点範囲	: データなし
可燃性	: 不燃
爆発下限界および 爆発上限界／可燃限界	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 9.9(30 倍希釈)
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に可溶
n-オクタノール／ 水分配係数 (log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし

密度又は相対密度	: 1.041g/cm <sup>3</sup> (15°C)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

---

#### 10. 安定性及び反応性

化学的反応性、安定性	: 通常の条件では安定。
危険有害反応可能性	: 強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件	: ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触。
混触危険物質	: 過酸化物質、強酸化剤。
危険有害な分解生成物	: 燃焼等による一酸化炭素等が発生する可能性がある。

---

#### 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: LD <sub>50</sub> ≥ 4269mg/kg (ATEmix)
急性毒性 (経皮)	: LD <sub>50</sub> ≥ 18360mg/kg (ATEmix)
急性毒性 (吸入:ミスト)	: LC <sub>50</sub> ≥ 7.45mg/L (ATEmix)
皮膚腐食性及び 皮膚刺激性	: 皮膚区分1の原料を5%未満、皮膚区分2の原料を10%以上含有。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	: 皮膚区分1の原料を3%以上、眼区分1の原料を3%以上、眼区分2の原料を10%未満、眼区分2Bの原料を10%未満含有。
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: 皮膚感作区分1の原料を含有していない。
生殖細胞変異原性	: 変異原性区分1、区分2の原料を含有していない。
発がん性	: 発がん性区分2の原料を1%以上含有。
生殖毒性	: 生殖毒性区分2の原料を3%以上含有。
特定標的臓器毒性、 単回ばく露	: 単回毒性区分1の原料を10%以上、単回毒性区分2の原料を1%未満、単回毒性区分3の原料を20%未満含有。
特定標的臓器毒性、 反復ばく露	: 反復毒性区分2の原料を10%以上含有。
誤えん有害性	: データなし

---

#### 12. 環境影響情報

生態毒性	
急性毒性	: 急性区分2の原料を20%未満、急性区分3の原料を5%未満含有。慢性
慢性毒性	: 区分1、区分2、区分3、区分4の原料を含有していない。
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: 物理化学的性質から見て、大気、水系、土壤環境に移動しうる。
オゾン層への有害性	: 現在のところ有用な情報なし。

---

#### 13. 廃棄上の注意

- 内容物、容器などの廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託処理する。
- 投棄禁止。
- 埋立処分を行う場合には、あらかじめ焼却設備を用いて焼却し、その燃えがらについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」に定められた基準以下であることを確認しなければなら

ない。

- ・ 燃焼する場合は、安全な場所で、かつ、燃焼または爆発によって他に危害または損害を及ぼす恐れのない方法で行うと共に、見張り人をつける。

---

#### 14. 輸送上の注意

国連分類 : 該当なし  
国連番号 : 該当なし

下記、各法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。

消防法 : 非危険物  
船舶安全法 : 非危険物 (個別運送およびばら積み運送に於いて)  
航空法 : 非危険物  
その他関係法令の定めるところに従う。

---

#### 15. 適用法令

消防法 : 非危険物  
化管法 : 該当なし  
毒劇法 : 該当なし  
労働安全衛生法 : 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(別表第9)第219号ジエタノールアミン  
海洋汚染防止法 : ジエタノールアミン(Y類)を含有  
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 産業廃棄物規制(拡散、流出の禁止)

---

#### 16. その他の情報

本製品の安全データシートは、JIS Z 7253:2019 に従い作成したもので、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱い事業者提供されるものです。取り扱い事業者は、これを参考として自らの責任において個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

##### 主な参考文献

原材料メーカー提供の安全データシート (SDS)

許容濃度等の勧告、日本産業衛生学会 (2010)

米国産業衛生専門家会議 (ACGIH) “TLVs and BELs 2010” (2010)

日本規格協会 (JIS) JIS Z 7253 : 2019 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法」

---